

# 東日本大震災 連合救援ニュース

被災者の皆さまに心から  
お見舞い申し上げます。

発行 連合災害対策救援本部

電話 03-5295-0539 FAX 03-5295-0547 [soshiki@sv.rengo-net.or.jp](mailto:soshiki@sv.rengo-net.or.jp)  
日本労働組合総連合会(連合) <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

## 「連合東日本災害対策救援本部」としての活動を終了

連合は、3月11日に発生した東日本大震災に対応するため、3月14日に、「連合災害対策救援本部」を設置し、本「連合救援ニュース」の第1号を発信しました。以降半年間余りの取り組みをおこなってきましたが、「連合・災害対策救援本部」としての活動は、第12回定期大会(10月4日～5日)をもって終了し、以降は通常の執行活動に引き継ぐこととなりました。よって、この「救援ニュース」は今号が最終号となります。

「連合・東日本災害対策救援本部」は、当初は緊急支援として、組織内・街頭の災害救援カンパを展開し、同時に、被災地への支援物資の提供などを軸に構成組織・地方連合会に呼びかけました。救援カンパは、組合員や一般市民、国際組織等からの義援金を含めて、連合本部には8億円余りが寄せられ、震災被害が大きかった岩手・宮城・福島・茨城・千葉の各県に義援金として手渡しました。連合組織全体で集約したカンパ金・義援金等は合計約30億円にのぼり、それぞれの組織内外における被災支援資金等として活用されました。なお、今回の救援カンパ活動については、本年9月末で一旦終了しました。

3月末からは岩手・宮城・福島の3県に救援ボランティアを派遣してきました。ボランティア派遣は、参加人数で約6千人、延べ約3万5000人を数えました。この活動は被災地の住民・自治体などから高く評価され、労働運動の社会的責任を担うとともに、「地域に顔の見える運動」の具体化として貴重な取り組みとなりました。

震災から半年を経過し、被災地の状況も少しずつ変化しています。当初の「緊急救援ニーズ」への対応から、仮設住宅等への入居が進む中で、被災者の生活再建を支援することや、地元企業の再建と雇用の場を確保すること等、また、放射能汚染による被害除去も含めて、生活・雇用・産業などのトータルな再建・再生にむけて、政府・自治体、被災者、事業者、労働組合などの立場からの支援継続が求められています。

今後は、本格的な復興・再生にむけた政策制度の実現のため、2011年度第3次補正予算、雇用・就労対策、福島第一原子力発電所の事故の対応などを検証し、政府が責任持って政策を実行することを求めています。

連合は引き続き、復興・再生に全力を尽くし、「働くことを軸とする安心社会」につないでいきます。

半年以上にわたるご愛読、ありがとうございました。

連合第12回定期大会会場での  
「連合災害救援活動写真展」



## 連合会長メッセージ

第 12 回定期大会をもって、「連合・災害対策救援本部」の半年あまり続いた取り組みを終えることとなりました。皆さまには、救援物資の提供、カンパ活動、救援ボランティア派遣など様々なかたちで、ご参加・ご協力いただきました。心より感謝と敬意を表します。ありがとうございました。

私が最初に被災地に入ったのは、4 月2日のことでした。津波に襲われた港、荒涼としたガレキの山、家の土台だけが点々と残る街並みが延々と続き、そこには多くの人たちが日々の暮らしを送っていたことを思うと、言葉を失い言い難い感情で胸がいっぱいになりました。他方で、悲しみに包まれながらも、「希望」を失わずに、大津波があった日も、次の日もそして次の日も今日この時も、困難に耐えながら、それを克服し乗り越えようと毎日を生きている多くの被災者に、私たちは逆に励まされたのです。

「被災地の復旧・復興なくして、日本の再生はない」。被災地の人々が、一日も早く普通の生活を取り戻すことこそが、不幸にも命を落とされた人たちの魂を鎮めることになると思います。現在でも災害と原発事故との闘いは続いています。連合は、被災地の復旧・復興・再生を全力で支えていく。定期大会では、そのことが私たちに与えられた第一の課題であることを、構成組織、地方連合会、そして連携する諸団体の皆さんとともに確認し合うことができました。

一人一人は微力ですが組織として結束して動けば大きな力となる、まさに労働運動の本質を再確認しました。「災害対策救援本部」としての活動は一区切りをつけますが、今後とも、政策制度実現の取り組みと、被災地・被災者が必要とするニーズに基づきこれからも連合の総合力・組織力を発揮できる取り組みを推進していくことといたします。

連合は、引き続き、「復興と再生に全力を尽くし、『働くことを軸とする安心社会』につなげよう」のスローガンのもと邁進してまいります。

2011 年 10 月 7 日

古賀 伸明